

第7章

「かせつじゅうたくをつくるしごと」

副読本 42 - 43 ページ

ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前

1 今日きょうの学習がくしゅうで思ったおもことや考えたかんがことを書かきましょう。

Blank lines for writing answers to the question.

道徳・学級活動

かせつじゅうたくをつくるしごと

朝あさの5時じにおこされ、じじのトラックとらっくにのって
ふたり、石いしのまきにむかって出でばつしました。
トラックには、かせつじゅうたくのやねとやねを
とめるナットなつとをつんで行いきます。

じじやそういうしごとをしてる人たちは、
ほんとうにすごいです。

じじやあのあつい中なか、こまってる人たちの
ためにはたらいってる人を見みて、そういう人の
ためになるしごとをしたいと思おもいます。

(作文宮城60号 特別編「あの子どもたち」より)

松島まつしまだい五ご小学校しょうがっこうの校まていの4よばいぐらいてっかい
山やまの上うへのあき地ちに、新あらたしいじゅうたくを作つくって
いました。じじがロープろーぷをはずしてクレーンくれえんの
ワイヤーわいあをもつにかけおろします。
すごくあつい中なか、エアコンえあこんを止とめるので
まどを全ぜんかにしてやりま。それでもあつくて
あつくて、あせだくになつてはたらいってます。
みんないそいでいます。つなみて家いえをながされた
人ひとたちのために、みんな一生いっしょうけんめいはたらい
ていました。あつい中なか、人のためにはたらくって、
すごいなあと思おもいました。

